

2015年度 関西学院大学自己点検・評価
 <C票> 第三者評価結果 【社会学研究科】

教育研究目標 1

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 5つの行動計画の具体的な目標設定によって、目標の具体性は担保されている。（評価者A） ・ 研究方法や研究対象の専門分化にもとづきながら、それらを総合的に応用し、複雑化する現代社会を分析できる人材を育成することを目標にしているため。（評価者B） ・ 目標から学生の将来像がイメージできる。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 社会学研究科の特長を伸長させる、適切かつ具体的な目標設定であると考えられる。（評価者A） ・ ①②③④とも妥当、適切です。（評価者B） ・ 6年後のめざす姿は内容が妥当で理解しやすい。（評価者C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 5つの行動計画の評価指標によって、その具体性は担保されている。（評価者A） ・ 妥当です。（評価者B） ・ 評価尺度A, B, C, Dが不明確である。（評価者C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u><評価者からのコメント></u> ・ 適切なスケジュール設定である。（評価者A） ・ 適切です。（評価者B） ・ 目標達成が示されていない。（評価者C）

教育研究目標 2

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 （※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか）	
「具体的である」 3名	<u>左記を選択した理由：</u> ・ 3つの行動計画の具体的な目標設定によって、目標の具体性は担保されている。（評価者A） ・ 日本国内においてばかりでなく、国際的に活躍できる人材を育成することを目標としているため。（評価者B） ・ 関係性はイメージしやすい。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<u>左記を選択した理由：</u>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
目標の内容 （設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 社会学研究科の特長を伸長させる、適切かつ具体的な目標設定であると考えられる。（評価者A） ・ ①②③④とも妥当、適切です。（評価者B） ・ 内容は容易に理解出来る、妥当である。（評価者C）
評価指標 （目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）	<u><評価者からのコメント></u> ・ 3つの行動計画の評価指標によって、その具体性は担保されている。（評価者A） ・ 妥当です。（評価者B） ・ 全体のA, B, C, Dの評価尺度が不明確である。（評価者C）
目標達成スケジュール （目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））	<u><評価者からのコメント></u> ・ 適切なスケジュール設定である。（評価者A） ・ 適切です。（評価者B） ・ 全体のスケジュールの目標値が不明である。（評価者C）

教育研究目標 3

1. 6年後のめざす姿（目標）

教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係	
教育研究目標と6年後のめざす姿（目標）との関係性 (※6年後のめざす姿（目標）は、教育研究目標達成に向けた具体性を持った内容になっているか)	
「具体的である」 3名	<p>左記を選択した理由：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「博士学位キャンディデート」および博士学位（課程博士）の取得者数の増加という目標は具体的かつ適切である。（評価者A） ・ 「博士学位キャンディデート」を授与することなどによって、博士学位（課程博士）の取得を促進することが目標となっているため。（評価者B） ・ 目標との関連性は明確である。（評価者C）
「具体的でない」 0名	<p>左記を選択した理由：</p>
その他気づいた点：	
6年後のめざす姿（目標）の妥当性、適切性	
<p>目標の内容</p> <p>（設定された6年後のめざす姿（目標）の内容は、①各部局の特長を伸長させる内容か、②意欲的な取組み内容であるか、③客観的に見て妥当であるか、④評価の視点から見て適切か、等の点から評価を行う。）</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会学部の特長を伸長させる、意欲的かつ適切な内容の目標設定であると考えられる。（評価者A） ・ ①②③④とも妥当、適切です。（評価者B） ・ 客観的に見て妥当である。（評価者C）
<p>評価指標</p> <p>（目標の進捗を測る上で、設定された評価指標、評価尺度は妥当か。）</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「博士学位キャンディデート」および博士学位（課程博士）の取得者数という評価指標は具体的かつ適切である。（評価者A） ・ 妥当です。（評価者B） ・ 設定された尺度が妥当で実現性が高い。（評価者C）
<p>目標達成スケジュール</p> <p>（目標達成に向けたスケジュール設定は適切か（長すぎないか、短すぎないか））</p>	<p><評価者からのコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適切なスケジュール設定である。（評価者A） ・ 適切です。（評価者B） ・ スケジュールは適切である。（評価者C）